

足

浅井 千代子
(西区鳳中町)

よし逃げよう

決心し防空頭巾を被り外へ

其処だけ明るい南の空を目指

し

すでに大阪の中心部に空はな

く

炎に包まれ一面火の海

地上には朦朧と迫ってくる真

つ黒な煙の山

昭和二十年三月十三日

焦土と化した大阪大空襲

其の頃

昼夜の別なく襲って来るアメ

リ力のB29

たまりかね

母 叔母 弟妹 従妹の総勢

八名が

父の古里信州の雪深い山奥に

疎開

大阪には父 叔父 兄二人の

男ばかり

私は前年十四歳で学徒動員

家から遠い軍需工場で

高射砲弾の部品を削る旋盤工

として働いていた

教科書等全く手にすることな

く小学校高等科卒業

その春十五歳になったばかり

両親の猛反対を押し切り

おさんどん役で大阪に残った

そして見舞われた大阪大空襲

父親は職場 隣組の大人達は

消火活動の為移動まならす

女子供のほとんどは疎開

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私の戦争体験 (29)

寄稿

逃げるのは私一人
見知らぬ町の見知らぬ路地を
ひたすら南へ
上空には時に執拗に迫ってく
るB29爆撃機
機銃掃射を避け
家々の軒下にかがみ 木の茂
みに隠れ ようやく辿りつい
た人々の群れで寸分のスキも
ない
私は土手に沿った細い道端の
木陰に疲れた足を投げ出し
ホッと一息ついた
どのくらい過しただろう
やがて陽は落ち遠くで
空襲警報解除のサイレンが聞
こえた
人々は立ち上り安堵の表情で
三三五五土手から散っていっ
た
今度は北に向って私は足を踏
み出した
距離にすると阪和線の駅の数
十二、三か
ただ一人黙々と歩き続けた
辛い帰り着いた我が家は無事
で
心配して待つて居た父達と手
を取り合って命の温もりを確
かめ合った
あれから七十三年
地域の九条の会の仲間と共に
時に街頭に立つ今
八十八歳高齢の私
心といのちを支えてくれる
この足に感謝
そして
戦争は絶対なくさなければな
りません

お楽しみクイズ

クロスワードパズル

- 応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先／〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにご郵送ください。
- しめきり／2019年5月8日(水)消印有効
- 当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を。賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
- クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。

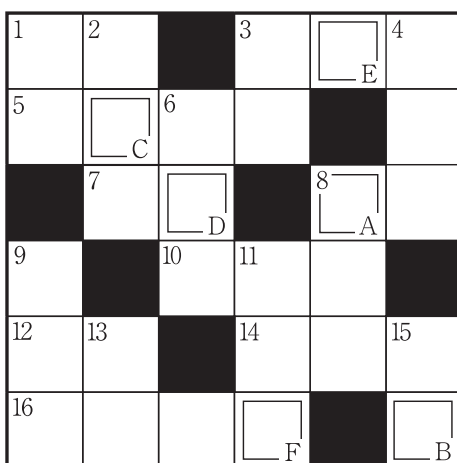
タテのキー

- ①○○の他人
- ②ラグビーでは5点の得点
- ③ピンから○○まで
- ④双子、一対のという意
- ⑤虚礼
- ⑥危うきに近寄らない人?
- ⑦泳ぎながら貝を割れる動物
- ⑧禍いのもと。――を絶つ

ヨコのキー

- ①○○の祭り
- ②期間の終わり。――手当
- ③しかけ。――を見破る
- ④この詩は○○を踏んでいてリズムミカルだ
- ⑤30分。1時○○
- ⑥蛙の○○に水
- ⑦蛙の○○に水
- ⑧蛙の○○に水
- ⑨蛙の○○に水
- ⑩蛙の○○に水
- ⑪蛙の○○に水
- ⑫蛙の○○に水
- ⑬蛙の○○に水
- ⑭蛙の○○に水
- ⑮蛙の○○に水
- ⑯蛙の○○に水
- ⑰蛙の○○に水
- ⑱蛙の○○に水

カギを解き、二重ワクに入る文字をA B C順に並べてできる言葉は何?



●2月号の答
「イシカリナベ(石狩鍋)」
●応募数/92通

俳句

啓蟄や 足弱の吾も 夢で旅
米をとぐ 指のいきいき 水温む
寒風に 負けじと寒松 背すじ伸び

八木マキ子
手嶋 光生

川柳

年金者 どこが賃上げ なんですか
記憶なし 五人の指導者 皆とぼけ
朝起きて さがし物多く 日が暮れる

堺谷九条男
安東 利彦
奥田 君江

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2019年5月8日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

平和の尊さを引き継いでいくために 戦争体験をお寄せください

機関紙編集委員会では、戦争を知らない世代に平和を受け継いでいくためにも、戦争体験を募集しています。戦後73年目を迎え、戦争の経験者が少なくなっていく中で戦争体験が語られることも少なくなり、貴重なものとなっています。編集委員会に寄せられるお手紙にも戦争体験は多くの反響があります。

お寄せいただいた戦争体験を冊子にまとめて、形に残していくことも検討しています。

ぜひ読者の皆さんの戦争体験をお寄せください。寄稿される方は800字位を目安にお願いします。

お問い合わせ 友の会事務局 (TEL) 072-244-8061

「風の伝言」プロジェクト 第3弾

病室に飾るアート作品を募集します

患者さんにエールを届けませんか

自分の部屋(病室)にお気に入りの作品を飾って欲しいと耳原総合病院は考えました。同時に患者やご家族・医療者に応援を届ける目的を持っています。

作品のコンセプトを病院のホスピタルアートコンセプトである「希望の灯」と統一し、作品を追加募集します。

ご協力をお願いします。

- 絵画・写真・切絵・版画・押花・布・イラストなど「希望の灯」をコンセプトとした未発表作品
- A4サイズ内 210mm×297mm 厚さ制限 2mm
- 点数制限 お一人様 応募5点まで
- 納品期間 2019年5月30日
- 応募対象 耳原総合病院のホスピタルアートコンセプトにご賛同いただく方々
- 展示場所 耳原総合病院、病室及びラウンジ等
- 企画 アート委員会
- 送付先・問い合わせ 品質管理部 虎頭まで